

伊那谷リニアバレーNEWS

～長野県にリニアがやってくる！～

VOL.2 令和4年1月1日発行
長野県 建設部 リニア整備推進局

TEL:026-235-7016

FAX:026-252-7315

E-MAIL:linear-kyoku@pref.nagano.lg.jp

■「リニア開業を見据えたまちづくり講演会」を開催します！

リニア開業を見据え、伊那谷地域の交流・移住人口を増加させるための気運醸成を目的とした講演会を令和4年1月15日(土)10時より飯田市エス・バードホールにて開催し、同時にzoomにてオンライン配信を行います。

テーマを「信州回帰や移住を促進していく上での伊那谷地域の魅力・強みとは」とし、1部では、伊那谷地域に信州回帰・移住し多方面でご活躍されている5名より講演をいただき、2部では、講演者によるパネルディスカッションを行います。申込方法は、以下のURLより講演会のチラシをご覧ください、チラシ内のQRコードまたは参加申込フォームのURLにより事務局（県リニア整備推進局）へ報告をお願いします。

URL:<https://www.pref.nagano.lg.jp/linear-shin/happyou/documents/20211203press.pdf>



■地域課題の解決に向けた取組～おためし立地 チャレンジナガノの活用～

長野県では、今年度より「おためし立地 チャレンジナガノ事業」をスタートしています。伊那谷地域では、飯田市が「製造業DX化による生産性向上」を、辰野町が「地域内の交流促進に資する利便性の高い地域交通の導入」を地域課題として事業に参画しています。飯田市、辰野町では15社を超える企業とマッチングを行い、それぞれ3社の企業が行う取組に対して県によるハンズオン支援（県による進捗のフォロー等）を行っているところです。

URL:<https://www.pref.nagano.lg.jp/ritti-it/happyou/211111press.html>

■銀座NAGANOがパワーアップしました

東京銀座にある長野県の総合活動拠点「銀座NAGANO」が昨年10月に施設を拡充し更にパワーアップ。コロナ禍により地方回帰への関心が高まる中、これまで執務室横で対応していた移住と就労相談を5階に移転し、プライバシーに配慮した専用スペース「個別相談エリア」を確保。信州暮らし案内人と長野労働局の就職支援ナビゲーターが常駐し、相談者に寄り添った対応を行います。

併せて、県内事業者の商談等に活用いただける「フリー相談エリア」や市町村や事業者のセミナー等を実施するスペースも設置。いずれも事前予約制となりますので、希望がございましたら「銀座NAGANO」（電話：03-6274-6015 イベント担当）まで問合せください。

https://www.pref.nagano.lg.jp/eigy/sharespace_event.html

■ 県内初ドローン物流による総務大臣賞受賞

令和3年11月25日、伊那市とKDDIでは、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(以下 MCPC)主催の「MCPC Award 2021」において「モバイルパブリック賞」を受賞すると共に、各賞受賞者を候補者として選定される「グランプリ/総務大臣賞」を受賞しました。

受賞した理由について、中山間部での買い物困難者の課題に対し、ドローン技術の活用と物流システムの構築により、自治体運営による国内初の定常ドローン物流サービスを実現しました。一年を超える運用実績を持ち、中山間地域の住民の日常的な暮らし・買い物支援に貢献している点が高く評価されたとのこと。



(提供：伊那市)

URL：<https://www.inacity.jp/koho/photonews/inaphoto031125-2.html>

■ 飯田ケーブルテレビではリニア長野県駅建設予定地の映像を配信します

飯田ケーブルテレビでは、上郷地区の高台にライブカメラを設置し、リニア中央新幹線長野県駅建設予定地の映像を配信します。飯田ケーブルテレビの光キャストビジョンサービスに加入している世帯は「ictv 総合チャンネル」、「結チャンネル」等でライブカメラの番組時間帯に見られる他、飯田ケーブルテレビのHPやYouTubeライブでも24時間配信



(提供：㈱飯田ケーブルテレビ)

を見ることができます。飯田ケーブルテレビは、「リニアの開通は地域の大きな関心事と捉え、ライブカメラを設置した。ネットで国内外にも知ってもらい、観光誘致や地域発展にもつながれば」とコメントしています。

URL：<http://www.iidacable.tv/livecamera/>

■ 関係人口拡大に向け民泊仲介サイトと連携～飯田市の取組～

飯田市では、関係人口の創出や移住定住等の促進を図るため、大手民泊仲介サイトを運営するAirbnb Japan（エアビーアンドビー ジャパン）及び南信州観光公社と令和3年11月16日に包括連携協定を結び、ポストコロナ時代の関係人口創出、持続可能なまちづくりの推進の他、農家民泊や空き家を活用した移住定住の促進を目指します。

佐藤市長は、「本協定により、南信州の人と暮らしに出会う幸せな皆さんが増えることを期待します。」とコメントしました。

URL：<https://www.city.iida.lg.jp/site/yuiturn/kyoutei.html>

■「地方創生テレワーク交付金」を活用～飯島町の取組～

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に地方でのサテライトオフィスの開設やテレワークの活用で、地方への新しい人の流れを創出することを目的に支援する内閣府の「地方創生テレワーク交付金」について、飯島町が交付対象事業として決定されました。

飯島町七久保の千人塚公園にある「櫻山」と隣接するログキャビンを今年度中に改修し、ネットワーク環境を整えてサテライトオフィスやコワーキングスペース開設を計画し、企業誘致を進めていきます。

■下伊那天竜川沿い自転車道整備にむけて課題共有しました

豊丘村と飯田建設事務所では令和3年10月29日に飯田下伊那の天竜川沿いへ自転車道整備に向けたキックオフイベントを開催しました。関係市町村長と県、国の関係者がスポーツ用電動アシスト自転車に乗って天竜川沿いを試走しました。

豊丘村では、5月に自転車レンタル事業などを行う「とよおか旅時間」を開業させるなど、サイクルツーリズムを推進しており、今回も天竜川兩岸を自転車道整備実現の第一歩として飯田建設事務所とこのイベントを進めました。下平村長は、「自転車道整備実現のため、協力して県や国へ要望を行っていければ」とコメントしました。



(提供：豊丘村)

■リニア整備対策に向け、新たな組織を設置します～阿智村の事例～

阿智村では、令和3年11月1日付で牛山副村長をトップに置く「リニア整備対策チーム」が発足しました。建設農林課と地域経営課の複数の課から職員2名と課長級職員2名で構成されます。

今後、チームでは副村長をトップとして今まで以上様々な課題や整備に取り組んでいきます。

このニュースレターでは、リニア中央新幹線の開業に向け、伊那谷地域等で展開されている地域振興の取組をまとめ、四半期毎に関係機関向けにご案内しています。紹介したい取組などがございましたら、長野県リニア整備推進局までお気軽に情報をお寄せいただきますようお願いいたします。(担当者)